



校長室通信



No.4

R2. 4. 21

私たちが一つになること！

職員会議
ミニ講話



今年度最初の職員会議の終わりに少し時間をいただいて教職員に対してお話をしました。その中で、「私たち（たちばな支援学校）が一つになること」をお願いしました。生きている間に起こる問題は、常に初めて経験することばかりです。だからパソコン等で検索しても正解はありません。自分で答えを出してこれからの人生で、それが正解だったと言える未来を作っていくしかないのだと思います。

東北の震災の翌年、春の選抜高校野球で、21世紀枠で出場した石巻工業高校の阿部主将が、選手宣誓の言葉の中で、

被災された方々の思いを「答えのない悲しみ」と表現し、それを乗り越える方法を示してくれています。それは、「日本が一つになること」です。今、私たちが置かれている状況は、東北の方々とは違いますが、学校・保護者・地域等が「一つになること」で、乗り切ることができればと願い、その思いを教職員に伝えました。



校庭にきれいな花が咲いています。(4/21)

校区内教委を訪問

4月1日に着任してから本校の校区内（海南市～印南町）の教育委員会へご挨拶に回りました。全部で11の市町教育委員会です。各教育長様や指導主事様とお話をする中で、本校の教育活動に対して高い評価をいただきました。今後とも、地域の信頼に応えられるよう、全職員が力を合わせて特別支援教育に係るセンター的機能を発揮できるよう取り組んでいきたいと思っています。それにしても校区の広さはかなりのものです。



入学式を行うために車庫から校庭に移動したスクールバスも近日中に学校再開に向けて試運転等を行う予定です。

在宅勤務実施中

国や県の要請により本校でも接触の機会の低減を目指すため、教職員の在宅勤務（分散出勤）を実施しています。各ご家庭との連絡等については、今までどおり担任が行っています。学校再開に向けて準備を進めています。不安なことや困りごと等がありましたら学校までご連絡ください。



職員室の様子 (R2.4.20)